

NTT セキュリティ・ジャパン

「OT セキュリティ簡易診断」を無料で公開

～OT セキュリティ対策の初めの一步として、お客様環境の工場、生産現場の状態、工場内のリスクを把握することができます。～

概要と背景

NTT セキュリティ・ジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：関根太郎、以下「NTT セキュリティ・ジャパン」）は、フォーティネットジャパン合同会社（本社：東京都港区、社長執行役員：与沢 和紀、以下「以下フォーティネットジャパン」）より OT セキュリティ簡易診断ツールの提供を受け、当社 Web サイトに「OT セキュリティ簡易診断」として公開しました。

近年の企業の DX 化の取り組みにより、工場内においてもインターネットに接続する OT システムが増えマルウェアやランサムウェアなどのサイバー攻撃によるセキュリティリスクはますます深刻化しています。しかし経営層・情報システム部門・生産管理部門・工場管理者など、役割や部門横断での正確な現状把握が難しいことが、工場の ICT 環境のセキュリティ対策が進まない要因になっています。

「OT セキュリティ簡易診断」は、経済産業省による「工場システムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン（略称『経産省ガイドライン』）に即した質問項目から構成されており、OT セキュリティ対策の初めの一步として、お客様の工場・生産現場の状態、工場内のセキュリティリスクの把握に役立ちます。お客様社内の工場のセキュリティに関わる、部門・異なる役割を超えた円滑な意思疎通、協力体制の構築を支援します。また、簡易診断結果から、OT セキュリティの 3 つのステップ「現状把握と評価」「脅威の侵入や拡散の防止」「工場・プラント内の監視」からお客様環境に最適な OT セキュリティ対策の選定を支援します。

【参考：OT セキュリティ 3 つのステップ】

https://jp.security.ntt/products_and_services/ot_security



「OT セキュリティ簡易診断」について

『経産省ガイドライン』に準拠

「OT セキュリティ簡易診断」は、経済産業省が策定した『経産省ガイドライン』のチェックリストを活用しており、経営層や社外関係者への、自社のセキュリティ対策状況の説明にお役立てできます。

共通指標として使えるわかりやすい診断結果

簡易診断の結果を「A」、「B」、「C」、「D」の4段階でわかりやすく表示します。

セキュリティ状況について技術に精通していない部門の方などにもわかりやすい表現で全社共通の認識を持つことができ、円滑な意思疎通、セキュリティ対策推進を支援します。

「OT セキュリティ簡易診断」

https://jp.security.ntt/ot_security_check/index.html



【お問い合わせ先】

NTT セキュリティ・ジャパン株式会社

ML: ntts.japan-info@global.ntt

フォーティネットジャパン合同会社について

フォーティネット (NASDAQ: FTNT) は、ネットワーク / セキュリティの融合とサイバーセキュリティの進化を、牽引し続けている企業です。あらゆる場所で、人・デバイス・データの安全を確保するというミッションのもと、お客様が必要とするすべての場所にサイバーセキュリティを提供しています。エンタープライズでの利用に対応した 50 を超える製品群で構成される業界最大規模の統合ポートフォリオを実現し、業界最多の導入実績、特許数、認証数に支えられ、50 万を超えるお客様からの信頼を獲得しています。脅威分析とセキュリティ研究を行う組織「FortiGuard Labs」を運営し、自社開発した最先端の機械学習や AI テクノロジーを活用することで、タイムリーかつ一貫したトップクラスの保護と共に、実用的な脅威インテリジェンスをお客様に提供しています。また、「Fortinet Training Institute」では、誰もがサイバーセキュリティのトレーニングと新たなキャリアの機会を得られるよう、業界最大規模かつ最も広範なトレーニングプログラムを提供しています。詳しくは

<https://www.fortinet.com/jp>

<https://www.fortinet.com/jp/blog>

<https://www.fortinet.com/jp/fortiguard/labs>

をご参照ください。